

## 九電グループは、CSR経営を通じて 地域・社会の課題解決に取り組み、 「持続可能な社会の実現」に貢献します。



九州電力株式会社 代表取締役 社長執行役員 **池辺 和弘**

九電グループは、「ずっと先まで、明るくしたい。」をブランドメッセージとする「九電グループの思い」のもと、低廉で良質なエネルギーをお客さまへ安定してお届けすることを通じて、お客さまの生活や経済活動を支え、九州とともに成長してきました。

一方、国内外では経済・社会・環境面での社会的課題が多様化・複雑化し、その解決に向けた企業への期待も大きくなっています。

こうした中、九電グループがどのような貢献ができるかを示し、地域とともに発展・成長していくという私たちの姿勢を発信するため、昨年6月に「九電グループ経営ビジョン2030」を策定し、現在、このビジョンの実現に向けた取組みを推進しているところです。

これらの取組みを、社会的課題の着実な解決に繋げていくためには、これまで以上にステークホルダーの皆さまからの期待・要請をしっかりと受けとめ、CSR経営を充実させていくことが重要と考えています。

### CSR経営の充実にあたって

近年、国際社会全体の持続可能な開発目標として国連で採択されたSDGsや、企業の環境等への配慮を評価するESG投資等、地球規模で「持続可能な社会の実現」に向けた取組みへの期待が高まっています。

国内においては、気候変動による災害の多発化・甚大化や、人口減少等の進展による地域の衰退等、様々な課題が深刻化しつつあります。また、至近では新型コロナウイルスの

感染拡大により多方面に甚大な影響が生じています。

このような経営環境の変化も踏まえ、九電グループはSDGs等から幅広く抽出した社会的課題のうち、ステークホルダーの皆さまからの期待・要請を最優先に考えた「豊かな地球を守る」「皆さまの暮らし・経済を支える」「地域社会を元気にする」等を柱とするCSRの重要課題の解決に向けて、グループの強みを活かした取組みを充実させていきます。

### 「持続可能な社会の実現」を目指して

今後も、九電グループは「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」という思いを共有して、地域の皆さまと一緒に汗をかき、知恵を絞りながら、様々な課題の解決に積極的にチャレンジしていきます。

皆さまに満足いただける価値を提供し、地域社会や皆さまの暮らしの発展に貢献することで、九電グループも成長し、また新たな価値を創造するという好循環が生まれるよう、取組みの更なる充実を図っていきます。

本年4月に当社の送配電部門が新たに「九州電力送配電株式会社」として分社しましたが、これからも九電グループ一体となって、地域の皆さまと一緒に「九州から未来を創る」ことで、「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。

2020年6月